

東京都の官民連携ファンド投資第1号、 AIPヘルスケアジャパンが大田区に介護と保育の複合施設

東京都は、2016年2月12日にファンド契約を締結した官民連携福祉貢献インフラファンド事業において、子育て支援施設を含む福祉貢献型建物の整備促進に取り組んできたが、さる1月22日、AIPヘルスケアジャパン合同会社が運営するファンドが東京都大田区で同建物整備に向けた第1号の投資を行なったことを明らかにした。

ファンドの名称はAIP都内福祉貢献投資事業有限責任組合で、ファンド規模は35億5,000万円。うち東京都の出資額は25億円、さらに芙蓉総合リース(株)、東銀リース(株)が5億円ず

つ出資した。

投資物件は大田区南雪谷の約1,500㎡の土地に建てる地上5階建ての複合施設である。ここに認可保育所(定員86人)と介護付有料老人ホーム(61室)を開設する計画で、建物竣工は19年1月、認可保育所は同年4月、介護付有料老人ホームは同年3月にそれぞれ開設する予定。総事業費(土地取得費、建設費)は約33億円、うち6億円をファンドが出資し、残り27億円を金融機関・リース会社が融資する。なお、2つの施設は介護事業者の(株)ケア21によって運営される。